



# 若いちから特別編 会長・理事長対談 ～RELATIONSHIP～



(公社)北見青年会議所  
第64代 山口 冬樹 理事長

株式会社ICY 代表取締役

## JC略歴

2014年 (公社)北見青年会議所 入会  
2017年 教育推進委員会 委員長  
2018年 副理事長  
2019年 アカデミー委員会 委員長  
2020年 副理事長  
2021年 理事長

(公社)日本青年会議所 北海道地区協議会 3回出向

2015年 道東エリア運営会議 議員  
2018年 地区大会運営委員会 委員  
2020年 地域経済強靱化室 室長

北見青年会議所シニアクラブ

渡部 徳章 会長

有限会社小柳仏壇店 代表取締役社長  
北見東ロータリークラブ会長  
緑と花の市民の会会長

## JC略歴

1996年 (社)北見青年会議所 入会  
1999年 グローバル委員会 委員長  
2001年 第44代理事長  
(社)日本青年会議所北海道地区道東ブロック協議会 2回出向  
2002年 副会長  
(社)日本青年会議所北海道地区協議会 1回出向  
2003年 未来の地区創造委員会 委員長  
(社)日本青年会議所 4回出向  
2004年 ブロック支援委員会 副委員長  
2005年 循環型社会創造委員会 委員長  
※(社)は現在(公社)に法人名称変更  
2019年 北見青年会議所シニアクラブ会長 就任

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が蔓延している中、今後も私たちが青年会議所運動を積極的に展開していくために、道を切り拓き、歴史と伝統、想いを紡いでこられたシニアクラブ会員の皆様とのより確かな関係構築につなげさせていただきたく、お二方にお話を伺いました。

(対談日 7/8)



(公社)北見青年会議所と北見青年会議所シニアクラブとの交流・連携について  
理事長…(公社)北見青年会議所は、一九五三年七月に創立し、永きに亘り、明るい豊かな社会の実現に向けて運動を展開し、多くの卒業生を輩出して地域社会に貢献してきました。持続可能な組織として運動を行うために、いつの時代もシニアクラブの皆様のご指導ご協力が必要と実感しております。

会長…設立から六十九年という歴史を経て、OBやシニアクラブ会員の人数の方が現役よりもずっと多くなりました。私が生まれる前から北見青年会議所は設立されているので、OBやシニアクラブ会員は年代も様々ですが、一番大事にしていたのは、OBやシニアクラブ会員と現役との関係は一般社会と「あまり変わらない」ということ。修練の場であるJCIで学んだことを社会に出て実践することが基本であり、歴史を繋いできた諸先輩に「敬意を払うこと」が一番大切だと思います。

会社社において、社長や専務でも自分の入社前からいる年上の社員には、敬意を払って接するのと同じです。よく言われたのは「先輩になったら後輩にはおごれ」です(笑)。しかし、後輩を見つけて声をかけようと思っても卒業して年数がたつと、現役には知らない方が多くなります。私が現役の頃は、一緒にいた先輩がある人に挨拶した時は、全く知らない先輩でも「こんにちは」と挨拶すると、その先輩が「フッ」としてくれたものです。社会で年上の人と接するのと変わりなく、OBやシニアクラブ会員の方とも接することで、諸先輩も現役を理解できる。現役との間が離れている人は、その「中間の人が間を取り持つ」という流れが必要だと思います。

理事長…おっしゃるとおり、一社会人として目上の人に敬意を払うことは大事ですね。要覧を活用して、わからない方がいたら各委員長や四役に聞かなどして皆がご挨拶できるように行なっていきます。

会長…要覧は、私が理事長の時に日本JCIに名簿を提出する必要から全員に



ふりがなを振るようになりました。それで私も全員の顔を見て、だいたい顔と名前が一致するようになりました。四役は、顔と名前が一致しなくなるとはいけませんね。OBやシニアクラブ会員の皆様は、要覧の写真が若い時のままの方もいるので、ちょっと分かりづらいかもしれませんが(笑)。

今こそJCI!アフターコロナを見据えた地域づくり推進について  
理事長…新型コロナウイルスの影響を受け、北海道や私たちの住む北見市においても様々なイベントや事業が中止となりました。(公社)日本青年会議所ではオンラインを主とする「JCIプログラムセミナー」「オンライン商談会」、子どもたちへこれからの時代に必要となる「プログラミング」や「メディアリテラシー」について学ぶ機会等が創出されました。北見JCIでも、地域経済委員会を設け、コロナ禍においても成長から企業への発展へつなげるべくソフト面を強化していく例会を行ったり、これまでとは違う窮屈な生活を送っている地域の子ども達へワクワクする機会を生み出していきます。これまで地域づくりの先頭に立ち、取り組んできた私たちだからこそできる新しい地域づくりがあると考えます。



**会長**…私が現役の頃は、JCIで仕事の話はご法度で、一生懸命努力をすることで仕事がついてくる。そんな考えでJCI運動をしました。時が移り、今のJCI運動は、企業や仕事についても発信できる。組織や社会情勢の変化によってJCIの立ち位置が変わります。私が現役の頃は、委員会等で十分に議論した後は、飲んで街にお金を落として来るという時代でしたが、今は違う。青少年へのプログラムを例にとれば、私が委員長の時、福祉をテーマに開催しましたが、時代時代で、様々な切り口からプログラムが開催されていきました。

新型コロナウイルスの感染拡大で社会情勢には大きな変化がありました。本年、市内の小中学生にはタブレットがひとり一台ずつ与えられました。しかしこれは、私がPTA活動をしていた頃から「ICT教育の推進」として言われていたことです。オンライン会議や情報発信についても同様です。また最近はいく、ニューノーマルの時代と言われはよく、人と人が対面で繋がるのが制限されたことで、ITやオンラインが急速に普及しました。年齢が高くなると、このことへの対応が難しいのですが、現役世代は、柔軟な頭を使い変化に対応出来ます。新型コロナウイルスによって、オンラインをフル活用するようになってきました。時代が少し早くやってきました。過去の事業を学び「今の地域にとって大事

なことは何か」を考えながら運動を展開して下さい。過去に諸先輩が行った、地域の人たちや子供たちへの事業とは方法は違うかもしれないが、若い方々やJCIだからこそできる運動をしつかり頑張ってもらいたい。

**理事長**…昨年日本青年会議所の定款が変更になり、ビジネスの活用という部分が増えました。これも渡部会長がおっしゃった「時代が早まった」ということですね。先輩方は大きな企業の方ばかりで、現役メンバーは、業種や規模も様々。JCIには、大きな学びや交友関係が増えるなど色々なチャンスがあると私も八年間JCI活動して学んできました。これから、仕事のやり方など「ビジネスの機会」も増えますし、それもコロナ禍が与えてくれたプラスのきっかけであったと思います。

**会員拡大について**

**理事長**…北見JCIは現在、近年最も少ない四十四名のメンバー。本年は、卒業予定者が四名と、会員数増加を見込める現状と捉え、新入会員の目標を二十名に掲げております。これまでの会員拡大は、四役と各委員長が集まる委員長連絡会議の拡大プロジェクトにて、情報共有や訪問をしましたが、一部のメンバーだけでなく「組織全体」での会員拡大活動が必要であると考え、昨年からは総務広報委員会と大委員会が先導。六月にメンバー向けに理事長が会員拡大の号令を発信しましたが、現段階としては難しい局面に立たされていくと感じます。仲間が一人でも多く会員になることで地域づくりの可能性がより広がります。有益な情報を集める。「他人事と捉えず積極的にメンバー全員が動く」この意識変革、行動喚起に尽きると思います。

**会長**…現役の皆さんは「JCIを楽しんでいますか?」とお聞きしたいですね。私が現役の頃は、毎晩のように飲みに行っていたので、家族からはJCIに行く事を問題にされていましたが、楽しかった。毎日飲んで騒いでいるボンボンと言

われながら、仲間意識はちゃんと作られ、自然とJCIを楽しんでいました。そのことを勧誘で伝えることができていました。入会は、だいたい騙されて入っていますよ(笑)。私も断ることが出来なくて入会しましたが、入ったからには一生懸命やるうと思えました。入会に「はい」と言ったのは自分です。そう思うとやるのか、嫌々やるかで歴然とした差があります。人を集めたいと思うなら、所属している組織で自分が楽しそうにする姿を見てもらおうしかなければ、頑張っている姿は周りが見えていけません。諸先輩もあいつに言われたら、JCI世代を入会させないてはいけなかなと思っ頂けるかもしれない。今の現役は、大変そうだとOBやシニアクラブ会員の方々が感じています。楽しんで活動しているように見えなないと私にはそう聞こえてきます。自身が楽しんでJCI運動に努力を惜しまずに、将来の北見の経済を引っ張ってくれる若い方々に対して、JCIと一緒に学んでもらいたいと伝えてください。入会は騙しや騙されです。それでいいんです。そう私は思います。

**最後に皆様へメッセージを**

**理事長**…シニアクラブ会員の皆様、平日頃、私たちの現役メンバーの活動に対しご理解とご協力を賜っております。心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス拡大が地域や企業に多大な影響を与え、想い描いたカタチと異なる中でも、もがき多くの知恵を頂きニューノーマルの時代だからこそ私たちが青年が前を向き失敗恐れず挑戦していきます。本年度で友好関係が四十年目を迎える(一社)宮古青年会議所は創立六十周年記念式典・祝賀会を九月二十五日(土)に開催予定。コロナ禍により開催可否の判断はまだ先ですが、必ず開催するという力強い言葉で私たちも勇気をください。今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。新しいコロナの一刻も早い終息を願っております。ありがとうございます。

**会長**…山口理事長をはじめとする現役



の皆様へ。今の子供たちを見ても思うのですが「真面目」ですよ。しっかりと頑張る現役だと私は思っています。そこから一歩殻を破って積極的に自分をPRして下さい。JCIに入りながら、人生の中で思いっきり活動できる時間はそう多くはありません。JCIの中で出来ることをしっかりと頑張る。私はそのように現役の皆様には期待をしています。私自身よく無茶をしたなど今更ながら思い出してしまいます。ぜひ「記憶に残る現役時代」を過ごしていただきたいと思います。

OBやシニアクラブ会員の皆様へ。私より年上の方もたくさんいらっしゃるので発信などおこがましいのですが、現役が頑張っている姿にぜひ「関心を持って」もらいたいという気持ちです。現役から挨拶されたらおこがましい(笑)。そして「現役を誉めてあげる」ことをお願いしたいと思えます。シニアクラブ会長として九月二十五日は宮古JCIにお邪魔したいと思っております。本日はありがとうございます。